

# 生活科部門

☆ 総 評 ☆

今年は、体験を活かしたとても生活科らしい作品がたくさん寄せられました。生活科では、ただ何となく調べるのではなく、生活の中から疑問や不思議を見つけ、自分の目や耳や足を使って実際に体験し、検証することが大切です。次回も、「詳しい」より「楽しい」作品を期待しています。

## 文部大臣奨励賞

「おしごといろいろ  
はたらく人しらべ」

岐阜県柳津町立柳津小学校  
二年 長谷部 翔

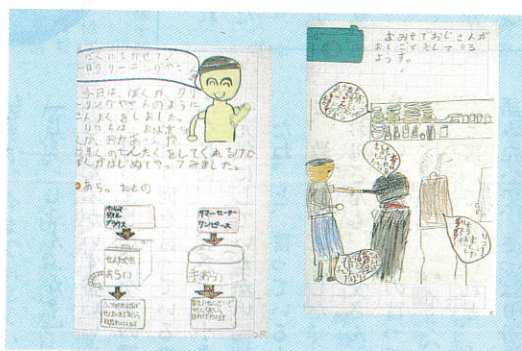


「興味を持った「仕事」というテーマに対し、目と耳と足でしっかりと追求し、自分なりの観点から鋭く観察しています。また、調べるだけにとどまらず、その結果をできるだけ実践し、自分の生活に生かしているという姿勢が高く評価されました。」

お父さんの転勤をきっかけに、いろいろな仕事について調べてみることにしました。  
ラーメン屋さん、ガソリンスタンド、クリーニング屋さんなど、近所の店も、直接店の人に会い、目と耳を精一杯広げて探検したら、新しい発見がたくさんありました。

また、調べた仕事に、自分でも挑戦してみました。ラーメンをつくって食卓まで持っていく時、手がとても熱いことや、車にワックスをかけるのがとても疲れることなど、やってみて初めて分かったこともたくさんあったようです。

いろいろな人に会い、様々な仕事を見て聞いて体験してみたことで、翔くん「将来の仕事」も少し見えてきたのではないのでしょうか。



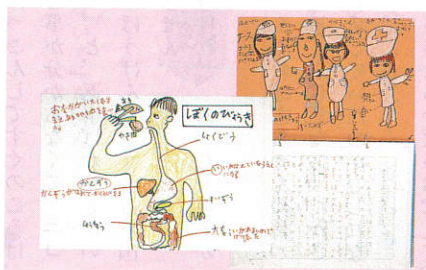
## 優秀賞



「二十日大根ってどんな芽が出てくるの?」/「二十日大根は本当に20日のできるの?」 愛知県愛知教育大学附属岡崎小二年 林大地

▲長期に渡って根気よく二十日大根を栽培・観察しました。失敗を失敗で終わらせず、次にどうしたら丸い大きな実ができるかを一生懸命考えて試しています。

「ぼくのゆういんものがたり」  
岐阜県板取村立板取第一小二年 箕浦亮介



▲夏休みに入院というツイていない事態にもめげず、ユーモアたっぷりの目で病院内を観察しました。看護婦さんのポケットの中身の研究など、アイデアも秀一です。周囲の人々との交流の様子が伝わってくる、心温まる作品です。



「わたしの大きなカメのうすちゃん」  
東京都白百合学園小二年 吉野摩耶

▲飼っているカメのうすちゃんの仕種から表情までを、すばらしい観察力・表現力で記録しています。毎日自分の手で世話をし、うすちゃんと友だちになって話しかけている様子が目に浮かぶような作品です。

### その他の受賞作品

- ◆優良賞 「おしごとのけんきゅうレポート」(目黒星美学園小一年) 加藤明子 「ありのけんきゅう」(瑞浪市立瑞浪小一年) 大野世貴 「私がみつけた雨水利用」(流山市立流山小一年) 鈴木堂 「イネのかんさつ」(白百合学園小二年) 橋本晶子 「山野内のしみちゃん見つけたよ!」(瑞浪市立明世小二年) 安藤智華
- ◆佳作 「しらくそうにいこう」(東京学芸大学教育学部附属小金井小一年) 杉野有里 「二十かしてにつめよアケハのかんさつ記」(酒井良典 「わたしのせいちようきょう」(岐阜市立立保小二年) 鈴木喜絵 「キ」(岐阜市立立加納小一年) 酒井良典 「うさぎとなかよし」(柳津町立柳津小二年) 柳津小立王岐小二年) 伊藤由奈 「こまのけんきゅう」(各務原市立蘇原第一小二年) 水野剛 「ぼくのおてつだい日記」(土岐市立泉小二年) 成瀬隆幸 「バッタのかんさつ」(鹿児島市立西紫原小二年) 内匠恵里奈